

郡山市・福島大学連携による

「ふくしま未来食・農教育プログラム」



公開講座開催のお知らせ

郡山市と福島大学は、農業と食品産業の一層の発展を目指し、震災からの復興と風評被害の払しょくを図るため、原子力災害に苦しむ福島県の現状と未来を様々な角度から考える公開講座を開催します。それぞれ専門の講師がわかりやすい内容で講演します。どなたでも参加できますのでぜひ御参加ください。

平成25年 平成26年
11/28~2月下旬 (全4回)

入場無料

会場: 郡山市役所 本庁舎 特別会議室 郡山市朝日一丁目23-7

定員200名

農業者の方、一般の方、関係機関の方など
どなたでも参加できます。 ※事前申込みの必要はありません。

〈全4回 コーディネーター〉
福島大学特任准教授 林 薫平氏

第1回

平成25年 11/28 木 18:00~20:00

「放射能からの農地再生・安全な農産物生産と農業振興」

土壌環境学・郡山市農業振興アドバイザー
新潟大学 野中 昌法氏

〈コメンテーター〉 福島大学准教授 小山 良太氏

第3回

平成26年 1月下旬 18:00~20:00

「農業の水循環と放射性物質」

農業水理学 新潟大学 吉川 夏樹氏

〈コメンテーター〉 福島大学特任准教授 石井 秀樹氏

第2回

平成25年 12/17 火 18:30~20:00

「風評被害の心理」

社会心理学 東洋大学 関谷 直也氏

〈コメンテーター〉 福島大学特任准教授 小松 知未氏

第4回

平成26年 2月下旬 18:00~20:00

「水稻の放射性物質の動き」

栽培学 東京大学 根本 圭介氏

〈コメンテーター〉 福島大学特任准教授 石井 秀樹氏

お問い合わせ

郡山市役所 農林部 営農推進課
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番地7号 北1号棟1階
TEL:024-924-3761 FAX:024-938-3150

福島大学 経済経営学類
〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL・FAX:024-548-8377

講演日程と講師紹介

(第3回目以降の日程は、正式に決まり次第広報こおりやま等でお知らせいたします。)

〈全4回 コーディネーター〉
福島大学特任准教授
林 薫平氏

第1回

平成25年 11/28 木 18:00~20:00

「放射能からの農地再生・ 安全な農産物生産と農業振興」

土壌環境学・郡山市農業振興アドバイザー 新潟大学教授 野中 昌法氏

〈コメンテーター〉福島大学准教授 小山 良太氏

第2回

平成25年 12/17 火 18:30~20:30

「風評被害の心理」

社会心理学 東洋大学准教授 関谷 直也氏

〈コメンテーター〉福島大学特任准教授 小松 知未氏

第3回

平成26年 1/21(火)15:00~17:00

「農業の水循環と放射性物質」

農業水理学 新潟大学教授 吉川 夏樹氏

〈コメンテーター〉福島大学特任准教授 石井 秀樹氏

第4回

平成26年 2/24(月)18:00~20:00

「水稻の放射性物質の動き」

栽培学 東京大学教授 根本 圭介氏

〈コメンテーター〉福島大学特任准教授 石井 秀樹氏

※都合により、講師、日程、内容等は変更となる場合があります。



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。 紙へリサイクル可。

地域復興

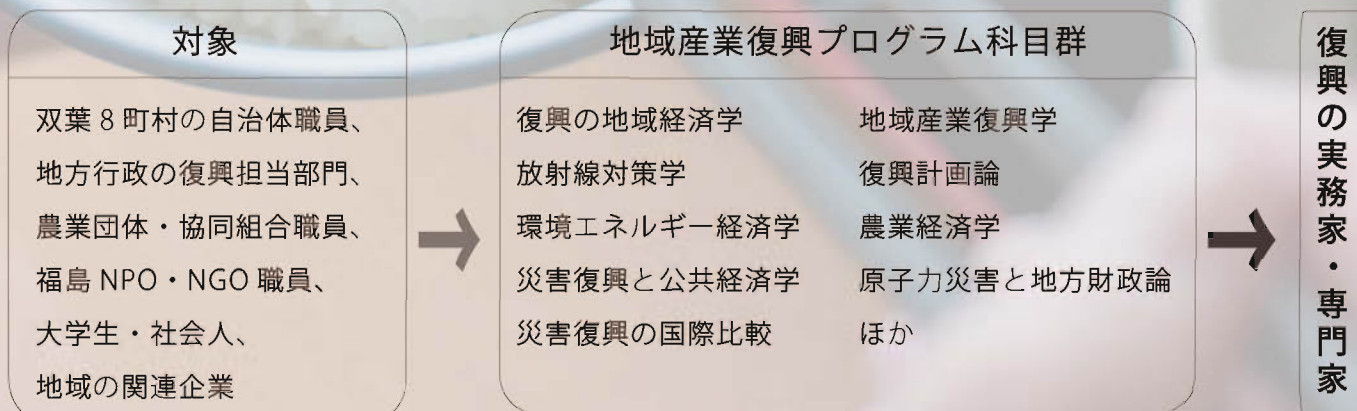
福島大学大学院経済学研究科
地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム)

□地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム)

経済学研究科は、復興への寄与を目指して、地域経営経済コースのなかに「地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム)」を平成25年度4月より開設しています。

すでに、福島大学は、被災地の復興に寄与するため、双葉地域8町村および福島県内各自治体、各団体、諸機関との相互協力・連携協定書を締結おり、フィールドにおける実践を通じた研究教育(PBL: Project Based Learning)を重視した人材育成を行い、福島をはじめとする日本の地域産業復興の担い手となるエキスパートを養成することを目指しています。

経済学、産業政策に関する基礎科目の他に、原子力・放射能教育、放射能測定に関する技術指導・実践演習や復興庁、農林水産省、国土交通省、総務省など中央官庁との政策研究の機会も設置予定です。



対象者は社会人大学院生、地方自治体復興計画部門担当職員(福島県産業振興課・地域政策課など)、避難地域の行政担当者(地域連携協定:双葉8町村、福島大学サテライト設置自治体:南相馬市、川内村など)、避難地域・仮設住宅の社会人・卒業生、復興計画の実践に関心のある学生、地域企業などを想定しています。

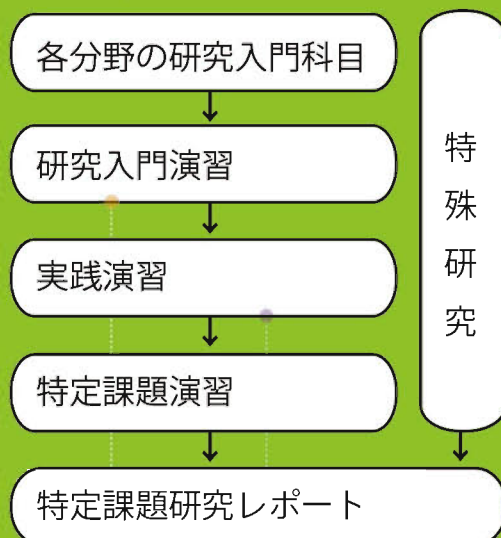
地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム)

本プログラムでは、福島大学が平成 22 年度から導入した社会人向けの新カリキュラムのもとで、実施されます。

このカリキュラムは社会人の方々を念頭に置き実務的・応用能力の育成を主とし、従来の修士論文必修の履修システムだけではなく、高度職業人向けの履修システムである「実務家・特定課題研究モデル」を設定しています。このモデルは修士論文を必修の終了要件とはせず、企業などに勤める社会人が、調査やレポート作成などの実践を積み重ね、職業経験・実務経験と関連した特定課題について研究レポートを作成し審査を経て終了するモデルです。そのほか、社会人のリカレント教育に対応すべく、福島の「経済県都」ともいわれる郡山市での大学院教室の開講や、昼夜開講体制、長期履修制度を整備しています。またビジネス・経済分野の最前線で活躍される外部講師による講義科目の充実も図っています。

こういったカリキュラム体系を通じて、本プログラムでは、特定の分野についての高度な専門知識を深めるとともに、実践的応用力を身につけ、各分野で指導的役割を担う人材の育成を目指しています。

□実務家・特定課題研究モデル



平成 25 年度入学生のカリキュラムの一例

	時限	月	火	水	木	金	土	日
1s	時限							
18:00-19:30	6	復興の地域経済学 (国際産業配置論特殊研究) 吉田樹			地域産業復興学 (地域産業論特殊研究) 小山良太		放射能汚染対策学Ⅰ (経済学特別研究) 小山良太・石井秀樹・小松知未	
19:40-21:10	7	環境・エネルギー経済学 (環境経済学特殊研究) 沼田大輔			産業復興特殊研究 研究入門演習 小山良太		復興計画論 (地域政策論特殊研究) 小山良太	
2s	時限							
18:00-19:30	6	農業経済学 (土地政策論特殊研究) 飯島充男			特定課題演習 小山良太		放射能汚染対策学Ⅱ (経済学特別研究) 小山良太・石井秀樹・小松知未	
19:40-21:10	7	災害復興の国際比較 (経済政策特殊研究) 佐野孝治			原子力災害と地方財政論 (地方財政システム特殊研究) 清水修二			
3s	時限							
18:00-19:30	6	社会政策 (社会政策論特殊研究) 熊沢透	特定課題演習 小山良太				各種集中講義:設定中	
19:40-21:10	7							
4s	時限							
18:00-19:30	6		特定課題演習 小山良太					
19:40-21:10	7							

…必修科目 …選択科目 …集中講義

ふくしま未来食・農教育プログラム

(第1弾 経済学研究科 地域産業復興プログラム)

原子力災害からの農山漁村の復興には、人づくり、地域づくり、産業づくりが重要です。

この課題に取り組むには、放射能、食や農に関する幅広い知識(自然科学、農学から社会科学まで)と、これを復興への具体的な礎とするための構想力や実現力を培うことが不可欠です。

福島県の農業者や食品関係事業者はもとより、未来を担う若者や行政職員といった多様な人々が、オール福島で対策を講じる必要があります。

福島大学大学院経済学研究科は高度な知識と素養を備えた復興の担い手を育成することで、被災者自身による実践的活動をサポートし、福島の農山漁村の復興を実現することを目的としています。

プログラム専任教員紹介



小山良太 Koyama Ryota

経済経営学類

国際地域経済専攻 准教授

専門分野

農業経済学、地域経済学、協同組合学

研究・活動の概要

地産地消や農商工連携の取り組みが盛んに行われていますが、一部の成功事例を除くとある段階から停滞するケースが多いのが実情です。それは地域で既に生産されているものをただ出荷し、販売するというプロダクトアウトの地産地消、川下の商にフードシステム上統合される農商工連携にとどまっているからです。

これから必要なのは地域の食生活も含むライフスタイル提案型の地産地消であり、地域内に加工工程や販売部門も内包化していく6次産業化の発想だと考えています。

具体的な活動・今後の抱負

小山研究室では、福大まちづくり株式会社マルシェ・Fをゼミ生と共に設立し、福島県産の在庫米を米粉に加工し、シフォンケーキとして販売する取り組みを実施しています。

また、福島市の街なか広場で朝市・青空市を開催しています(街なかマルシェ)。これは「ふくしま style」という「地産地消」の新たなライフスタイルを提案する試みであり、マルシェ・Fの事業理念を具現化したものです。



街なかマルシェの活動風景

研究・活動の概要

2013年に着任しました。福島県の農業・農村、農地政策の歴史を勉強しながら、震災後の経過や今後の動向について県内各地を回って調査しています。また、うつくしまふくしま未来支援センターの農業復興支援部門による土壌計測や試験栽培の活動とも連携して、今後の農地や集落の再生に向けた研究に取り組んでいます。

具体的な活動・今後の抱負

福島県内の農協や農業団体と、県内や首都圏の学生や生協等が連携して、福島の農業や農地の汚染や対策について議論を交わし、協力して再生に取り組んでいく仕組みができないかと考えています。

2013年5月、米国地理学会からの視察(中央)を受け入れ、福島市内の水田の土壌計測現場を案内し、JA新ふくしま担当者(右端)と意見交換。

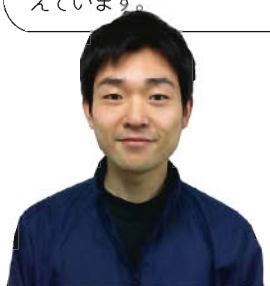


林薫平 Hayashi Kumpei

経済経営学類 特任准教授

専門分野

食料経済、農業・農地政策、農村計画、消費者運動



則藤孝志 Norito Takashi

経済経営学類 特任准教授

専門分野

フードシステム論、食農連携、地域づくり

活動の概要

フードシステムの視点から福島県の地域経済を捉え今後の目指すべき姿を考えています。福島県は米や果樹、野菜から畜産まで農業生産がとても盛んです。また食品製造業や卸・小売業、外食・中食産業、観光業など食と農にかかわる多様な産業が集まり、取引を通じて連関することで県内に大きな付加価値をもたらしてきました。震災と原発事故により傷ついた食と農の産業連関を取り戻し、将来に向けてより強くしていくための研究を行っています。

具体的な活動・今後の抱負

現在、福島県では地域・集落ぐるみで、あるいは農商工が連携して食と農のつながりを取り戻そうとする動きが各地で見られます。これらの取り組みを一時的なブームやイベントに終わらせないために、農家、食品メーカー、農協、住民組織、自治体など地域主体が一体となる地域づくり型農商工連携の仕組みを構築しようと考えています。またこのような循環型フードシステムが地域経済にもたらす効果についても研究を進めていきます。

活動の概要

地域農業を支える各種の組織や団体のあり方について、その背景となる地域農業や組織を構成する農業経営に注目しながら研究を行ってきました。地域の実態に即した課題について、その展開方向について提言できるような研究を心掛けてきました。

具体的な活動・今後の抱負

今後も、福島での地域の現状を踏まえた研究を行いたいと思っています。またその過程で得た情報や知識を大学院生のみならずと共有し、一緒に福島の復興について考えていきたいと思っています。



棚橋知春 Tanahashi Tomoharu

経済経営学類 特任研究員

専門分野

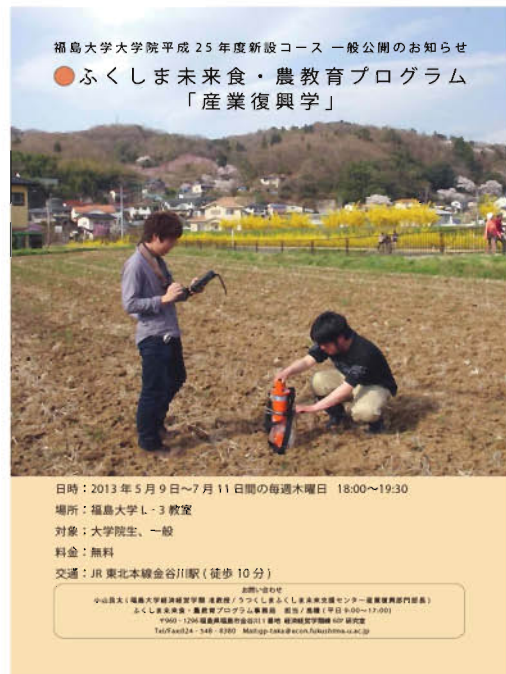
農業経済学、地域農業論

H25年度 一般公開講座実施内容

産業復興学 講義日程と講師紹介(前半)

●…チラシ前半に掲載
●…チラシ後半に掲載

日程	講師/所属	講義タイトル
2013年 5月9日	佐藤 守 (農業総合センター)	樹園地における放射能汚染動態と放射性Csの果樹への移行
● 5月16日	濱田武士 (東京海洋大学)	漁業と震災そして復興
● 5月23日	小松知未 (福島大学)	農産物の自給・地産地消・販売の回復 - 消費者意識と地域の実践から -
● 5月30日	野中昌法 (新潟大学)	土と農業 - 生命を育む土の力と放射性物質 -
● 6月6日	長谷川浩 (福島大学)	有機農業による持続可能な復興を目指して
● 6月13日	根本圭介 (東京大学)	水田における放射性セシウムの動態と稲への移行
● 6月20日	大鎌邦雄 (東北大学)	農業集落と農村行政システム - その形成と変貌 -
● 6月27日	金子信博 (横浜国立大学)	放射セシウムによる森林の汚染と対処
● 7月4日	吉川夏樹 (新潟大学)	流域面源殻の放射性セシウムの流出特性
● 7月11日	小山良太 (福島大学)	放射能汚染から食と農の再生を



福島大学大学院平成25年度新設コース 一般公開のお知らせ
● ふくしま未来食・農教育プログラム
「産業復興学」

日時：2013年5月9日～7月11日間の毎週木曜日 18:00～19:30
場所：福島大学L-3教室
対象：大学院生、一般
料金：無料
交通：JR東北本線金谷川駅(徒歩10分)

お問い合わせ
小山良太(福島大学経済経営学類 准教授) / 吉川夏樹(新潟大学 准教授) / 長谷川浩(福島大学 准教授) / 根本圭介(東京大学 准教授) / 大鎌邦雄(東北大学 准教授) / 金子信博(横浜国立大学 准教授) / 濱田武士(東京海洋大学 准教授) / 佐藤守(福島県農業総合センター 果樹研究所栽培培科 専門研究員)
〒960-1295 福島県福島市南大目1-1-1 福島大学L-3教室
Tel:024(24-548-8380) Mail:gp-taka@econ.fukushima-u.ac.jp

← H25年度一般公開講座広報用チラシ - 実施概要 -

日時：2013年5/9-7/11(毎週木曜日 18:00-19:30)
対象：学生、一般(どなたでも参加可)
料金：無料(事前申込不要)
※詳しくは大学HPなどで発表していきますので
そちらでご確認下さい。

↓ 公開講座の様子



佐藤守 (福島県農業総合センター)
所 属：福島県農業総合センター
果樹研究所栽培培科 専門研究員
専 門：果樹園芸学、果樹育種学
講義タイトル：樹園地における放射能汚染動態と放射性Csの果樹への移行
キーワード：土壌汚染、樹皮汚染、経年減衰効果、成長による希釈効果、果実中放射性Cs濃度

濱田武士 (東京海洋大学)
所 属：東京海洋大学 准教授
専 門：漁業経済学
講義タイトル：漁業と震災そして復興
キーワード：漁業、津波被害、海洋汚染、社会災害

小松知未 (福島大学)
所 属：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
農業復興支援担当 特任助教
専 門：農業経営学・農業経済学
講義タイトル：農産物の自給・地産地消・販売の回復
- 消費者意識と地域の実践から -
キーワード：福島県北の農産物直売所調査、全国消費者意識調査、果樹経営グループ、住民組織

野中昌法 (新潟大学)
所 属：新潟大学大学院技術経営研究科長
農学部(土壌学研究室) 教授
専 門：土壌環境学・有機農業学
講義タイトル：土と農業 - 生命を育む土の力と放射線物質 -
キーワード：土(土壌)地域資源、腐植、粘土、有機農業、放射線セシウム

※産業復興学[後半]のチラシも御座います。是非ご覧ください。

入試試験のご案内 地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム)

	入試形態	試験科目等	募集人数	出願期間	試験日
第I期関係の入試	一般入試	専門科目、外国語、面接	経済学 5人	平成25年9月9日(月)～ 9月12日(木)	平成25年10月12日(土)
	社会人特別入試	面接のための資料作成、面接	経営学 6人		
第II期関係の入試	一般入試	専門科目、外国語、面接	経済学 5人	平成26年1月20日(月)～ 1月23日(木)	平成26年2月15日(土)
	社会人特別入試	面接のための資料作成、面接	経営学 6人		

※詳細については、募集要項を下記担当までご連絡いただき、入手の上、ご確認下さい。(ホームページでもご覧いただけます。http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp)

各種問い合わせ先

入試・募集要項に関するお問い合わせ

↳ 入試課 (TEL:024-548-8064 / E-mail:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp)

修学・科目等履修生に関するお問い合わせ

↳ 教務課 (TEL:024-548-8356 / E-mail:k-somu@adb.fukushima-u.ac.jp)

公開授業・相談会についてのお問い合わせ

↳ 経済経営学類支援室 (TEL:024-548-8429 / E-mail:kpj@econ.fukushima-u.ac.jp)

地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育プログラム) お問い合わせ

↳ 食農プログラム事務室 (TEL:024-548-8380 / E-mail:gp-taka@econ.fukushima-u.ac.jp)